

第30回 CAOS21の会  
発行日 令和5年2月

CAOS21の会事務局

# 第30回 CAOS21の会 手術・施設見学レポート

## 日程

- 令和4年10月28日(金) 愛知県名古屋市 名古屋アイクリニック
- 令和4年10月29日(土) 群馬県高崎市 高崎佐藤眼科

## 目次:

- 1 はじめに
- 2 名古屋アイクリニック
- 3 高崎佐藤眼科
- 4 エクスカーション
- 5 参加印象記
- 6 協賛会社

## 1 はじめに

第30回CAOS21の会から第6代会長に、神奈川県横浜市の金沢文庫アイクリニック 院長 樋口亮太郎先生が就任されました。

コロナ第7波が騒がれている中で開催/延期の難しい判断を迫られましたが、参加者数の制限とコロナ感染対策を万全に期する事(健康チェックシート提出と検温実施など)で開催する運びとなりました。前回の第29回CAOS21の会は2019年3月1日に開催しましたので実に3年8ヶ月ぶりの開催となりました。

今回は屈折矯正手術のパイオニアである名古屋アイクリニック 院長 中村友昭先生に眼内コンタクトレンズ(Hole ICL)の手術見学と施設見学、網膜硝子体+白内障+多焦点眼内レンズのトリプル手術を多数施行されている高崎佐藤眼科 院長 佐藤拓先生の手術見学と施設見学をさせて戴きました。

## 2 名古屋アイクリニック

第1日目は、名古屋アイクリニック 院長 中村友昭先生を訪問しました。

中村友昭先生はご存知の通り中京病院市川一夫先生の下で白内障手術と屈折矯正手術の研鑽を積まれ1999年に名古屋アイクリニックを開院、白内障手術と屈折矯正手術のパイオニアです。20年間での手術件数はレーシックが18,327眼、多焦点眼内レンズが2,200眼、眼内コンタクトレンズ(ICL)が3,582眼の実績です。ICLにつきましては2003年から開始され、日本でわずか10名のICLエキスパートインストラクターの資格を得られ、たくさんの先生方をご指導されております。2021年11月に新クリニックへ移転され、中村先生が永年思い描いてきた理想の医院を追究した新しい施設を見学させて頂きました



# 第30回 CAOS21の会 手術・施設見学レポート

## 手術・施設見学

ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋で昼食を頂き、3年半ぶりの開催に待ちきれない雰囲気の中、一同は名古屋アイクリニックへ徒歩で向かいました。クリニック入口ではスタッフの方々に暖かく出迎えられ、アロマの香り心地よく中村先生こだわりの新しいクリニックを早速見学させて頂きました。

ホテルのラウンジを思わせる待合室にはグランドピアノが優雅な曲を自動演奏していました。ピアニストのチャリティーコンサートが11月19日に開催を予定しております。再来自動受付機ファストパスをはじめ、視覚言語ピクトグラムを用いた院内表示、セルフレジ、テーブルチェック、次回予約機、シャンプールームなど、広いフロアには工夫が多く施されており、優れたアイデアを自院の医療サービス向上に活用するため、参加された先生方も熱心に施設見学をされておりました。

第1日目の手術見学は4症例8眼のICL手術を見学させて頂きました。この日の手術は10症例20眼のICL手術を行う事を知り、参加された先生方が症例数の多さに驚かれていました。手術室に入室した先生方から中村先生に質問が多く寄せられていました。中村先生はその都度丁寧にご回答させて頂きました。

ICLのオペ時間は患者の入れ替えも含め片眼10分で終わります。多くの症例数をこなすため効率化のアイデアに参加された先生方も学ぶことが多かったと思われます。

手術見学後にスタッフ案内のもと3班に分かれて施設見学をさせて頂きました。中村先生が特注した院内システムに参加された先生方から質問が多く寄せられました。

事務スペースの広さとスタッフの多さに驚きました。管制室のようなスペースがあり、院内の監視カメラで全フロアがフォロー可能になっており、インカムでスタッフへ指示を出せる様になっていました。

## 講演会・症例検討会

手術・施設見学の後はANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋「ローズスームⅠ」へ移動して講演会と症例検討会を行いました。

『ICLと眼科経営』というテーマで中村友昭先生にご講演頂きました。

全人口の18%が75歳以上の後期高齢者となる2025年問題、2030年には団塊世代が白内障年齢となり、患者自己負担割合の増加や、混合診療(選定療養)の拡張、近視人口の増加が懸念されます。

そのようなカオスの時代を迎えるいま準備しておくべきことは何か？保険医療制度に依存しない眼科経営、ICLなど付加価値のある医療サービス提供の拡充が必要と思いました。

『円錐角膜にチャレンジ！』というテーマで小島隆司先生にご講演頂きました。

円錐角膜の診断後、進行が確認されれば角膜クロスリンキングの適用となります。診断方法

からカスタム角膜クロスリンキングの説明、コンタクトレンズによる円錐角膜の屈折矯正、特殊コンタクトレンズの紹介、円錐角膜診断の進歩、ニデックARK-1sに搭載されたKKIなど円錐角膜診療の現状を知りました。円錐角膜診療をこれから始められる先生にも分かりやすいよう丁寧に講演頂きました。

講演会の後の症例検討会ではICL手術のコツを詳しく解説頂きました。術中に注意している点も丁寧に説明頂きました。TASSに関するご講演も頂き、滅菌に関する意見交換が多みられ、手術の最後に使用するIAハンドピースを単回使用のものに切り替えた経緯の話題が印象的でした。

## 懇親会

講演会・症例検討会の後は隣の部屋「ローズルームⅡ」に移動して懇親会を行いました。

中村友昭先生と小島隆司先生、スタッフの鈴木奈央さんに参加された先生方から多数質問が寄せられました。

MBAをチャレンジする事を積極的に応援していた中村友昭先生のチーム作りに大変感銘を受けました。

第一日目を盛会裏に終える事が出来ました。中村友昭先生、小島隆司先生をはじめスタッフの皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



### 3 高崎佐藤眼科

第2日目は、高崎市の佐藤眼科 院長 佐藤拓先生を訪問しました。

佐藤拓先生は、前群馬大学岸章治教授と東京女子医大飯田知弘教授に指導を受けたのち2016年5月に高崎佐藤眼科を開院、約6年間で手術件数は硝子体手術2,258件、白内障手術を7,140件の実績で、2018年5月に多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術の先進医療施設に認定後518件施行した経緯がございます。

佐藤先生は群馬大学眼科教室に20年在籍され、加齢黄斑変性の責任者として研鑽を積み、ニューヨークにてDr.Yannuzzi, Dr.Spaidelに指導を受け、開院から硝子体注射14,143件、PDT499件の豊富な経験をされてきた優れた先生です。洗練された美術館のような造りの素晴らしい施設を見学させていただきました。

#### 手術・施設見学

ホテルメトロポリタン高崎で昼食を頂き、高崎駅から高崎佐藤眼科へ向かう大型バスの出

発時間まで少しあったので、希望される先生方は高山眼科駅前医院を見学させていただきました。貴重な「職場の基本理念」を拝見させていただきました。

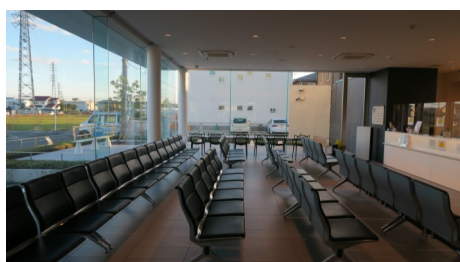
大型バスで高崎佐藤眼科に着くと、斬新なデザインの大きな建物に一同が驚きました。正面入口を入ると50名は入れそうな広い開放的な待合室、広い受付の横に診療費自動支払機が2台設置されておりました。エレベーターが完備されていて、2階には白を基調とした広いホールがあり、参加者された先生方全員が集うことが出来ました。

手術室へは3班に分かれて入室させていただきました。手術室に入室待機の先生方は2階ホールにある手術モニターを見学しながら、手術に関するディスカッションをしておりました。

第2日目の手術見学は、黄斑円孔・増殖性糖尿病網膜症・硝子体出血・白内障(PEA + IOL + Vitrectomy25G)、増殖性糖尿病網膜症・硝子体出血・白内障(PEA + IOL + Vitrectomy25G)、緑内障発作IOL偏位(IOL摘出+ant

Vx + 山根式IOL強膜内固定)の3例を見学させていただきました。佐藤拓先生のご厚意で、急遽ツァイス手術顕微鏡ARTEVO800をご使用頂き、3D画像で手術見学をさせていただきました。さすが眼科手術エキスパートの佐藤拓先生という手術を見学させていただきました。後の症例検討会で言っていたが、息が出来ないほど緊張していたそうです。

手術見学後にスタッフの案内のもと3班に分かれて施設見学をさせていただきました。広い診察室(最大4列)、広いバックヤード、1m視力表5列、5m視力表1列、前眼部OCT、トプコンOCT Tritonが2台、キヤノンOCT-S1、ハイデルベルグOCT2、ハイデルベルグHRA、Optosカリフォルニア、PDTレーザー、Pascallレーザー、tangoレーザー。まさに「大学病院の診療を身近に快適に」というコンセプトの施設でした。細かな工夫で効率化を追求している事に、参加された先生方から質問が多く寄せられていました。



# 第30回 CAOS21の会 手術・施設見学レポート

## 講演会・症例検討会

手術・施設見学の後に高崎佐藤眼科2階ホールで講演会・症例検討会を行いました。

『高崎佐藤眼科 外来・手術について』というテーマで佐藤拓先生にご講演頂きました。

患者のために平均滞在時間を短くするクリニックの工夫と、手術で長年の経験から出された最良の方法を惜しげなくご紹介頂きました。

佐藤拓先生ご自身の体験から、患者のために出来る事をしたいという思いでご開業され、加齢黄斑変性と硝子体手術を主に、患者のためのクリニックにする基本理念を守り続けておりました。

いつも「患者のために働くチームでいてね」とスタッフにお願いしているそうです。

午前中の外来患者の平均滞在時間は1時間32分との事でした。硝子体注射が多い状況でこの平均滞在時間は驚異的ですが、患

者のために平均滞在時間を1時間以内に目標設定して、進歩を続けているそうです。ボトルネック理論により、見つけたボトルネックの解決を心掛けているとの事でした。

受付を4列に広げる、視力を6列に広げる、診察室でやることダイエットを実施する、中待合の椅子の配置も工夫しているそうです。硝子体注射ではCHARMANTでワイヤー開瞼器(Sato-Wire Speculum with Blade G)とカリパー(Caliper G)を特注、ワイヤー開瞼器において痛みを減少させ硝子体注射のハードルを少しでも下げるための工夫もご紹介頂きました。

そのほかテノン嚢下麻酔にする理由、マキユエイドやBBGの使用法、眼球圧迫せずに手術を行う工夫、HHVレンズ使用のご紹介、笑気ガス麻酔器についてもご教示頂きました。

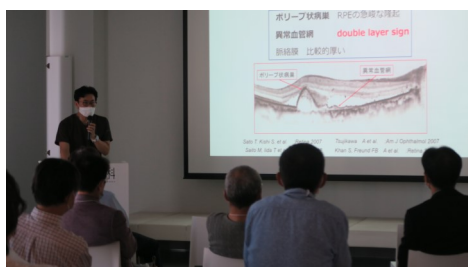
## 懇親会

講演会・症例検討会の後は大型バスで伊香保温泉福一へ移動して「寿峰」で懇親会を行いました。

佐藤拓先生と石黒利充先生を囲み、カオス馴染みのメンバーも揃い、和気あいあい盛やかな懇親会でした。

伊香保温泉はコロナ感染対策で21時以降の営業自粛を行っていた為、福一の館内にある営業していないカラオケラウンジを貸し切って2次会をさせて頂きました。とても楽しい懇親会となりました。佐藤拓先生、石黒利充先生をはじめ、スタッフの皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

1日目	名古屋アイクリニック	17名	}	参加者総数 23名
2日目	高崎佐藤眼科	19名		



## 4 エクスカーション

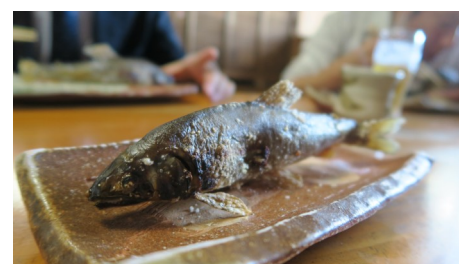
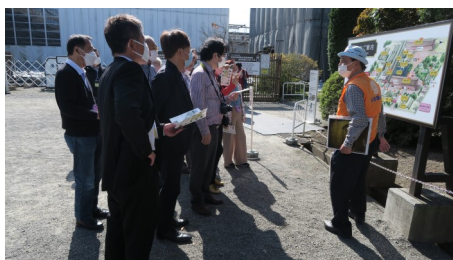
第30回CAOS21の会終了後の翌日は、折角の群馬訪問でしたので、2014年世界遺産に登録された富岡製糸場へ訪問しました。今回のエクスカーションは地元の高山眼科緑町医院 院長 高山秀男先生にプロデュースして頂きました。エクスカーションの企画時に高山先生からアドバイスを頂いて、コンニャクパークではなく群馬サファリパークへ訪問先を変更しました。群馬サファリパークへ車に乗車したまま入場するために、移動手段を数台のジャンボタクシーから貸し切りの大型バスに変更しました。この変更が後に幸運を招く事となりました。

10月28日は「群馬県民の日」で、群馬サファリパークでは県民優待を行っているため、激混みを予想していました。そのためオープン前に到着するよう出発したのですが、サファリパーク1km手前から全く動かな

い渋滞にはまってしまい、ただ時間だけが過ぎて行く中、残念ながら群馬サファリパーク訪問を断念せざるを得ないかと、不穏な雰囲気バス車内に出始めたころ、観光バス運転手が機転を利かせてサファリパーク事務所に「観光バスツアーなのに、この後の予定が全てキャンセルになってしまう、何とかして欲しい」と電話で交渉して頂き、なんと群馬サファリパークから対向車線(サファリパークからの帰途の車しか通行しない車線)をハザードランプを点灯しながら逆走行して良いと許可を頂き、1時間以上かかると思われた渋滞を回避する事が出来たのでした。それからサファリパークにおいて大型バスは優待され続け、ノンストップで園内を見学する事が出来ました。定員55名の大型バスに乗車しているのは13名という事が、外から車内が見つらい事が幸いして、バレーにサファリ

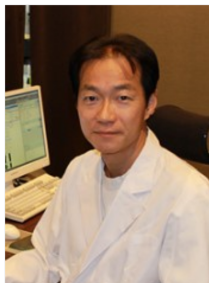
パークを後にした一行は、途中で地元「道の駅」に立ち寄り余裕も生まれ、富岡製糸場のガイド解説ツアーへ向かいました。怪獣映画『モスラ』のモデルである蚕蛾(カイコガ)の幼虫である蚕(カイコ)が吐糸する一本糸の長さは1500mにもなりません。富岡製糸場は予想をはるかに超える大量の蚕から絹織物の原糸(生糸)をオートメーション製造する巨大な近代的工場でした。

昼食は「そばっ喰い」を訪問しました。高山先生から群馬に来たという感覚を存分に味わえる川魚も美味しい手打ち蕎麦屋とご紹介頂いた通りのお店でした。美味しい蕎麦料理を堪能して帰途につきました。



# 第30回 CAOS21の会 手術・施設見学レポート

## 5 参加印象記



### 第30回CAOS21の会 主催者印象記

金沢文庫アイクリニック  
院長 樋口亮太郎 先生

第29回の会開催後に杉浦毅先生から世話人代表役を引き継ぎさせていただきましたが、その直後に皆様ご存じの通り武漢コロナウイルス感染症のため第30回の開催が延期され、このたびようやく、3年半ぶりの開催となりました。

第一日目：名古屋アイクリニック

ようやく再開されたCAOS21の会の記念すべき初日の見学先は、新装なった名古屋アイクリニックでした。これまでのクリニック(金山駅前)のすぐお隣のビルへの移転なので、患者さんの利便性も全く損なわれないものでした。

訪問前から新クリニックの紹介パンフレットやドローン映像を拝読拝見しておりましたので、ものすごいクリニックを作ったなあ、とある程度理解した上で訪問したのですが、実際にリアルで見学すると、使用している内装部材のクオリティーの高さ、高級ホテルのラウンジを思わせるようなアロマディフューザーからの香り、スタッフの温かいおもてなしなど、パンフレットだけではわからない、素晴らしい空間が広がっていました。

玄関から施設内に入ると、受付カウンター前でお出迎えしてくれたスタッフさんが妙に気になり、思わずパチリ、と写真を撮ってしまいました。

これまで様々なクリニックを見学させていただきましたが、受付の案内のスタッフのお嬢さんが気になって写真まで撮ったのは彼女が初めてでした。とにかく只者ではないオーラを発していたからです。すると、「何で私のことなんか撮ってるんですか〜！？」と割とため口系でツッコみ入れられまして、ますます気に入っちゃいました(笑)。そんな彼女が後に大活躍する鈴木奈央さんでした。外待合の一角で開催の挨拶と写真撮影を行い、次いで3班に分かれて手術見学、施設見学となりました。私は2班でひとまずミーティングルームに案内されたのですが、そこでなんと、先ほどの鈴木さんと再会して、彼女が私たちに院内システムの説明してくれたのです。(やはり只者ではありませんでした。)

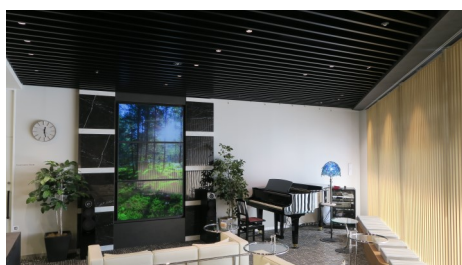
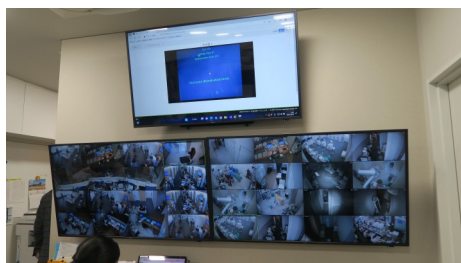
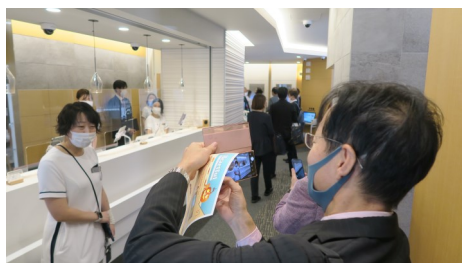
名古屋アイクリニックでは、院内の約50名のスタッフ全員にスマートフォンを支給し、インカム機能のみならず院内の患者さん情報などのリアルタイム共有が図られていること、しかもそのアプリケーションはクリニックのオリジナルであること、そのアプリを作ったのが鈴木さんの前職の先輩のSEさんであること、つまり彼女自身も

SEだったことなどなど、とにかく驚愕の事実が次々と判明しました。

さらに、32画面の巨大スクリーンで院内の状況をくまなく観察し、患者待ち時間のアラートシステム(一定時間ごとに黄色、赤色で表示され、アラームが鳴る)との連携でスタッフに指示を出す管制システム&管制官を専属で設置してあることなど、いろいろな意味で度肝を抜かれまくりでした。

検査機器も大変多く、中には見たこともない装置もありましたし(WASCAアナライザー?)、コンタクトレンズ写真をスマホで撮影してそのままカルテに転送出来たり、きれいで広くて完全個室化したカウンセリングルームでなんと治療費の支払いがカード決済できる端末が用意されていたりと、自院との彼我の差に呆然としながらの見学でした。

そのみならず、私たち見学者一人一人に対して、名前入りのプレートとともに可愛い紙バッグに入ったクリニックオリジナルのクッキーやペットボトルのお水、さらには、なかなか手に入りにくいかわいらしいお菓子までお土産にいただいてしまい、おもてなしの心遣いに大変感激しました。



手術はICLを10例20眼用意していただきました。エキスパートインストラクターの手技を間近で見学出来るまたとないチャンスとなりました。中村先生は事前に手術患者さんに対してCAOSの会の見学者が入ること、質疑応答しながらオペをすることを十分説明して了承を得ていたとのことで、術中にもたくさんの質問にお答えいただけました。レンズ装填の際、台座を使って慎重にセッティングすることや、カートリッジにオペガンではなく、BSSを充填して最後にごくわずかのオペガンを混ぜること(眼内でICLが早く開くので反転リスクが減少するそうです)や、2.9mmの弧状ブレードを使うなど、単なるオペビデオからでは到底わかりえない、small tipsをたくさん学ぶことができたことは、まさにリアルなオペ室を見学できるCAOSの会ならではの醍醐味でした。また、私が見学した際にはまたスタッフのお姉さまが患者さんとして入室し、雑談交じりでスムーズなオペ進行がなされ、中村先生がスタッフやそのご家族からも全幅の信頼を得ているのだと実感しました。施設見学後はお隣のANAクラウンホテルに移動しての講演会、症例検討会となりました。中村先生からはICLについてとこれからの眼科経営の在り方について、また、TASSIに関する講演では特に活発な質疑応答がなされ、メンバーの関心の高さがうかがわれました。小島先生からは円錐角膜にチャレンジ！というタイトルでご講演をいただき、今後私たちのような一般眼科医にとっても円錐角膜診療が一般化していく大きな一歩となりました。唯一心残りだった

のは、講演会の質疑応答が白熱しすぎて(?)、症例検討4症例についてのお話が聞けなかったことでした。

第二日目：高崎佐藤眼科

二日目は新幹線で名古屋から高崎へ移動し、高崎佐藤眼科の見学でした。

ロビー集合時に、昨日の施設見学の資料をジャメックスの井上さんが作成してくれていました、大変感激しました。(当院のパンフレット作製もぜひ手伝ってください(笑))

また、二日目のサプライズは当会ファウンダーであらせられる細川さんの参加でした。大変お元気そうで、やはりCAOSの会には細川さんがいなくちゃ！と改めて実感しました。

高崎駅では高山先生のクリニックの大きな看板を見学し(?)、さらに昼食後は高山眼科の分院を見学させていただきました。高崎駅からペDESTリアンデッキで直結の大変便利な立地にもかかわらず、ビルのテナントの多くが抜けており、ちょっと寂しい感じがしました。地方都市の駅前再開発の問題を垣間見た気がしました。

その後バスで佐藤眼科に移動しました。佐藤眼科は大変大きくスタイリッシュな建物で、以前訪問した姫路の野本眼科に雰囲気似ていましたが、その後同じ設計士さんの作品と知ってなるほどと納得しました。

手術症例は硝子体手術2件とIOL強膜内固定1例でした。佐藤先生はふだんLumeraでオペをなさっているとのことですが、CAOSの会の

ためにわざわざArtevoを借りていただいて、大画面かつ3Dで先生の繊細な手技を見学することができました。おそらく、沢山の見学者がいる中で相当緊張なさるであろう状況下で、自分が普段使い慣れていない器械を見学者のために準備していただくという、佐藤先生の並外れたお心遣いに変な感銘を受けました。また、シャンデリア照明をクリップで上手く固定し、両手で攝子を握めるように工夫なさったとのこと、本当に頭が下がる思いでした。

施設も大変に広く患者さんにとって快適な空間でした。視力検査は1Mタイプが5台、5Mタイプが1台ありましたが、それでも混雑時は視力検査待ちがかなり発生するとのこと、繁盛ぶりがうかがい知れました。2台のTritonを始めOCTが5台もあってフル稼働しており、まさに、大学病院の診療を身近に快適に、を実践なさっていました。

大変興味深かったのは処置室で、抗VEGF注射を顕微鏡無しで行っていることでした。ディスプレイ開眼器を自作したり、34G針を使ったりして患者さんの疼痛をできるだけ緩和しようとなっていました。

その後クリニック内のカンファレンスルームで、佐藤先生のご講演と症例検討会が開催されました。実は、硝子体手術見学中には、PDR手術なのにあまり周辺部を切除しないんだなあ、大丈夫なのかなあ、などと思っていたのですが、その点について佐藤先生から周辺部



## 第30回 CAOS21の会 手術・施設見学レポート

徹底的切除をしていた時代からできるだけ圧迫しないで低侵襲で終刃するようになった経緯について非常に深遠かつ示唆に富んだお話が伺えて感動しました。ほかにも、低濃度笑気ガス麻酔の導入の経緯や現状についても興味深いお話がありました。

さらに、これだけの高度な眼科手術医療を提供しているにもかかわらず、患者さんの平均滞在時間を出来るだけ短くしてあげようと外部調査機関に患者数と在院時間を計測してもらって今後の改善に生かしていこうという、患者さん本位の素晴らしい視座に立ってクリニック運営をしていることもわかりました。

その後、バスで伊香保温泉まで移動し、懇親会となりました。オペ患者さんの急なキャンセルでオペ執刀はできなかった石黒先生にも参加していただきました。また、細川さんから当会の歴史に関する貴重なご挨拶がいただけまして、たくさんの方の先生方と久しぶりの交流を楽しんでおられました。

コロナ感染対策のために伊香保温泉全体の飲食店が21時閉店とのことで、当初2次会は開催不可能だったのですが、ジャメックスの後藤さんが旅館側といろいろと折衝してくれて、なんと使っていないカラオケバーのスペースの使用許可をいただいた上、お酒もつまみも持ち込み可能(!)という、まさに夢のような環境を設定していただきました(笑)。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

2次会も相当に盛り上がったのですがそれでも足りず、私の部屋で3次会まで開催となり、佐藤先生、石黒先生ともに、深夜の1時近くまでお付き合いいただき大変な盛り上がりとなりました。

### 第三日目：エクスカーション

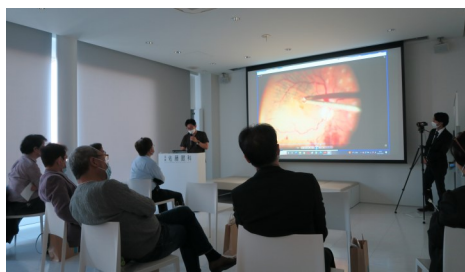
3日目は有志で高崎近郊のエクスカーションでした。高山先生のアドバイスで群馬サファリパークへ向かったのですが、そこでまさかの大渋滞！あまりの渋滞の酷さに入園をあきらめたほうが良いのでは？と言おうとしたくらいでしたが、バスの運転手さんが機転を利かせてパーク側と交渉してくれて、団体客ルートと称して一般車両の渋滞をパスしてくれました。これには車内で思わず拍手喝采が上がりました。サファリパークで可愛い動物たちに癒されたあとは、いよいよメインの富岡製糸場です。案内役の方が非常に話が上手で思わず引き込まれてしまいました。正直なところ、世界遺産とはいえ、それほど強い興味は持っていなかったのですが(失礼！)実際には大変面白い見学となりました。(まだ行っていない方、お勧めします！)

その後高山先生ご推薦の蕎麦屋さんで素晴らしい蕎麦御前&鮎の塩焼きを堪能し、帰宅の途に就きました。

### (まとめ)

コロナ禍で2年半以上開催が遅れたうえ、細川さんがジャメックスと当会から離れたことで、今回は最後の会になるのかな、なんて弱気な考えがあったことも隠さずに吐露いたします。が、しかし！やはりこうしてリアルの会で皆様と再会できて、リアルの会でリアルなお部屋で素晴らしい手術手技を間近で見学出来て、質疑応答でもなんのしがらみもなく思う存分質問ができて、素晴らしい先生がたの素晴らしいホスピタリティに触れることができ、本当にこの上ない幸せを感じることができた二日間でした。そして、これは来年もぜひともやりたいな！と、強く思うようになりました。

また、お会いしましょう！





Long  
**NGENUITY**<sup>®</sup>  
DIGITALLY ASSISTED SURGERY  
38

IOP  
45  
Asp  
34  
Vac  
584

# 驚きの経験を

眼科手術はアナログ顕微鏡を超えた  
NGENUITY<sup>®</sup> ビジュアルシステムへ<sup>1,2</sup>

CENTURION<sup>®</sup> ビジョンシステム<sup>3</sup>とVerifEye<sup>®</sup>+テクノロジーを搭載したORA<sup>®</sup> システム<sup>4</sup>との  
リンク機能も追加したNGENUITY<sup>®</sup>3D ビジュアルシステムをあなたの元へ

詳細はAlcon の営業担当者にお問い合わせください。

適応症、禁忌および警告については、関連製品の添付文書、取扱説明書を参照してください。

1. NGENUITY 3D ビジュアルシステム取扱説明書
2. Alcon data on File, TDOC-0055082, Assessment of Visual Attributes for NGENUITY System 1.0
3. CENTURION<sup>®</sup> VISION SYSTEM 取扱説明書
4. ORA<sup>®</sup> 術中波面収差解析装置 取扱説明書

販売名: NGENUITY<sup>®</sup> 3D ビジュアルシステム  
医療機器届出番号: 13B1X00211000044  
販売名: ORA<sup>®</sup> 術中波面収差解析装置  
医療機器届出番号: 13B1X00211000043  
販売名: 白内障手術装置 CENTURION<sup>®</sup> VISION SYSTEM  
医療機器承認番号: 22600BZX00220000

**ARGOS**<sup>®</sup>  
with Image Guidance by ALCON<sup>®</sup>



**FASTER.**<sup>1-4</sup>  
**EASIER.**<sup>\*5,6</sup>  
**BETTER.**<sup>1,2,7,8</sup>

セグメント方式による  
眼軸長を用いて  
白内障手術の精確性を  
デザインする

白内障についてもっと知りたい方は  
ウェブでさらに詳しくご説明しています

Vision Planner

販売名: SS-OCTバイオメータARGOS  
医療機器認証番号: 228AABZX00054000  
販売名: エレベーションテーブル  
医療機器届出番号: 13B1X00211000045



<https://www.cataract-iol.jp/>



1. Tamaoki A, Kojima T, Hasegawa A, et al. Clinical evaluation of a new swept-source optical coherence biometer that uses individual refractive indices to measure axial length in cataract patients. *Ophthalmic Res*. 2019;19:1-12.
  2. Shammas HJ, Ortiz S, Shammas MC, Kim SH, Chong C. Biometry measurements using a new large-coherence-length swept-source optical coherence tomographer. *J Cataract Refract Surg*. 2016;42:50-61.
  3. Hussaindeen JR, Mariam EG, Arunachalam S, et al. Comparison of axial length using a new swept-source optical coherence tomography-based biometer. *PLoS ONE*. December 2018.
  4. ZEISS<sup>®</sup> IOLMaster<sup>®</sup> 700 S104 Submission 2015.
  5. VERION<sup>™</sup> Reference Unit User Manual 2019.
  6. ARGOS<sup>™</sup> Biometer User Manual 2019.
  7. Whang W, Yoo Y, Kang M, Joo C. Predictive accuracy of partial coherence interferometry and swept-source optical coherence tomography for intraocular lens power calculation. *Sci Rep*. 2018;8(1):13732.
  8. Shammas HJ. Accuracy of IOL power formulas with true axial length versus simulated axial length measurement in 310 eyes using an OCT biometer. 2019 ASCRS ASOA Annual Meeting, May 2019.
- \*Compared to VERION<sup>™</sup> Reference Unit and VERION<sup>™</sup> Vision Planner.  
†Trademarks are the property of their respective owners.

アルコン・エクスペリエンス・アカデミー  
眼科医療従事者向け、無料のeラーニングアカデミー

**AEA**  
ALCON EXPERIENCE ACADEMY

ご登録はこちらから  
<https://aea-japan.com/>



**Alcon**

製造販売元(輸入元)  
日本アルコン株式会社

SMZ245-1  
JP-NGU-22.00086  
2209IPA  
© 2022 Alcon

## 眼科専用電子カルテシステム

# IMAGEnet eカルテV5/V5クラウド



選べるシステム形態  
オンプレミス / クラウド



多くのお客様の  
ご要望が反映された機能



使いやすい  
ユーザーインターフェース



全国をカバーする  
サポート体制

製品詳細は  
こちら



株式会社トプコンメディカルジャパン ホームページ <https://topconhealthcare.co.jp>  
本社 〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1 TEL.(03)5915-1800 FAX.(03)5915-1805

## 操作性と嚢内固定の追求

～ Aktis SPショートタイプ搭載プリセット・IOLシステム ～

### ネックスロード NSP-2

- 均一な押し出し荷重\*
- 刺入性向上
- 安定した開放挙動
- クリック感のある待機位置

\*Nex-IJ ネックスアイジェイ(カートリッジ) Type4C比

販売名:ネックスロード NSP

Kowa



Technology for Life Science

ポータブルスリットランプのパイオニア **コーワからの新提案!**

ポータブルスリットランプ

選べる 5Color!

ホワイト グリーン ピンク  
アクアブルー ブラック

# コーワ SL-19

- 洗練されたデザイン
- シリーズ最軽量
- 背景照明機能を新搭載
- 長時間駆動
- ワイヤレス充電オプション
- カメラモデルラインアップ\*1

デジタルカメラが内蔵されたモデルは、静止画・動画の撮影が可能です\*2。



\*1 カラーはホワイトのみです。  
\*2 撮影機能は参照用途とし、診断は目視にて行ってください。

仕様および製品の外観は、予告なく変更することがあります。



製品紹介動画はこちら  
京都府立医科大学 眼科 教授  
外園千恵 先生 ご出演

販売名:コーワ SL-19 届出番号:13B1X10038000046 クラス分類:I

製造販売元

**Kowa** 興和株式会社

東京都中央区日本橋本町三丁目4-14 URL : <https://www.kowa.co.jp>

## ヘッズアップ手術用の 完全一体型デジタル顕微鏡 ARTEVO 800



販売名:デジタル顕微鏡 ARTEVO800  
製造販売届出番号:13B1X00119003660

## LED光源とアポクロマート光学系の採用で リアルな色味を追求した新スリットランプ SL 800



販売名:スリットランプ SL 800  
製造販売届出番号:13B1X00119001570

製造販売元  
カールツァイスメディテック株式会社 TEL : 0570-021311 FAX : 03-5214-1251  
東京都千代田区麹町二丁目10番9号 <http://www.zeiss.co.jp/med>  
PA22127-01-OptiP-v01



Seeing beyond

# 眼科の発展を考える“CAOS21の会”

第30回 CAOS21の会

CAOS21の会 世話人

代表 樋口 亮太郎 先生（金沢文庫アイクリニック）  
加藤 祐司 先生（札幌かとう眼科）  
森谷 充雄 先生（もりや眼科）  
小林 聡 先生（稲村眼科クリニック）

## 6 協賛会社

日本アルコン(株)  
カールツァイスメディテック(株)  
(株)ニデック  
(株)トプコンメディカルジャパン  
興和(株)  
(株)トーマコーポレーション  
(株)ホワイトメディカル  
◀ 器材提供 ▶ (株)ホギメディカル

協賛各社様へ 平素はCAOS21の会へのご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。おかげさまで、第30回CAOS21の会も無事に終了することができました。今後も微力ながら眼科の発展につながるプランを考案していきますので、引き続き皆様のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

CAOS21の会については、こちらの  
ホームページに掲載しております。  
<https://www.caos21.net>

### CAOS21の会事務局 株式会社ジャメックス

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1-46-1  
電話:03-5978-4351 FAX:03-5978-4355  
Mail: sales-tokyo@jamecs.co.jp